
冴えない天使は見つける - 1.冴えない天使は見つける -

大崎マリン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冴えない天使は見つける - 1 - 冴えない天使は見つける -

【Nコード】

N4357BA

【作者名】

大崎マリン

【あらすじ】

周りの家族は「優秀」と名の高い人ばかり。それなのに清藍は平凡な子。けれど知らない誰かが言った失礼な一言でこんなに変わってしまいました。

成績優秀、運動神経抜群、容姿端麗……。全てを完璧に備えた清藍がある日見つけたのは素敵な「恋愛」……。だけど、あの人といられるのは3日だけ……。

― 神様は私にたくさんの”可能性”という名のカケラを与えてくれた。それを組み立てるのは私。何が出来るのかを知っているのも私。 -

1・冴えない天使は見つける

萩和原清藍は、金持ちの中の金持ちと名高い萩和原家の四女だ。
父親は23歳で「萩和原グループ」を起業し、たった2年で売り上げを全国トップへと導いた。母親は茶道の名門家、今泉家の一人娘の今泉寿で、10代の頃から慈善事業に取り組み、またの名を「ミス・大和撫子」というくらい日本女性の鑑といえる人物。3人の姉たちは美人なうえに全員、とても優秀である。長女の梓は5歳で5ヶ国語を操る、語学の天才。次女、椿はピアノ、バイオリン、フルートなど様々な楽器の演奏をこなし、絵画コンテストの最優秀賞を総なめにした、芸術のスペシャリスト。三女の槇は、数学・理科の理数系に長けていて、特に理科は高校で「理系のマドンナ」の異名をとるほどに優れていた。この通り、周りはことごとく「スゴイ」としか言いようのない人々にあふれていたが、清藍はその血筋にありながら、どこといって特徴のない平凡な子供だった。顔立ちは、絶世の美少女と呼ぶにふさわしい。しかし……性格は極めて消極的。ほどほどに何でも出来て、そこそこにできないことがあるという、なんとも表現しづらい性格だった。でも彼女はそれで良かった。周りがどれほど優秀だろうと、自分がどれだけ普通だとしても、彼女は、清藍は幸せだったから。たとえ母親が自分を優秀に育て上げる前に、ご臨終してしまっても、父親だけがたった一人の理解者だったとしても、清藍は平和な日々を過ごすことが出来たから。しかしそんな清藍の幸せで平和な日常は、知らないどこかの奥様の失礼な一言から終わり、清藍の心に闘志の炎を燃え上がらせたのだった。

いつものように今日のパーティーでも清藍はひかえめに、壁際に立っていた。姉たちはホールの中央でにぎやかに談笑している。特にこのパーティーの主役で、婚約したばかりの長女・梓の周りは学校の級友や奥様方などと常に華やいている。するとある1人の見知らぬどこかの奥様がニコニコとご機嫌な様子で、3人の姉たちを賞賛し始めた。清藍はそんなことは慣れていたし、気にしてもいなかった。いつものように聞き流していたのだが、その奥様の話の最後のあたりにふと自分の話題が出たので、こっそりと耳を欹てた。「そういえばもう1人娘さんがいましたわよね？なんていう子でしたっけ？ホラ、あなた方はとても優秀ですけれど、あの子は平凡な子ですからねえ。どうしてなのかしねー？」

哀れむような口調にさすがの姉たちも苦笑い……。と、今の清藍にはどうでもよかった。清藍の心の中に小さな『闘志』の炎が煙った。

（あの方……。どこの奥様が知らないけれど、ちょっと失礼ではないかしら？確かに私はお姉さまのようではないけれど、あそこまですけずけといわれたのは初めてだわ。いいわ、言いたいだけ言えばいいのよ。私、絶対に！絶対にお姉さま方をしのぐ、レディーになつてみせる！）

とは思ってみたもののどうすればいいのか分からず必死に悩んでいると、清藍のたった1人の理解者である父親・一樹がやってきた。「どうしたんだい？パパの天使ちゃん。そんなに冴えない顔して。」

一樹は清藍のことを天使と呼ぶ。父の声を聞いたとたん清藍は顔をほころばせた。今までを『冴えない天使』とあらわすならば、今は『女神』のように煌煌と輝いている。

（神様は”可能性”というカケラを与えてくれた。そのカケラを集めて組み立ててくれるはずのママはもういない。だったら、自分で拾い集めて組み立ててればいいんだわ！）

そう、清藍は見つけたのだ。神様が与えた、散らばるカケラの中に。

初めて見つけた”可能性”とも”希望”ともいえるカケラ。『財力』
という名のそれを。

「パパ？あのね、私習い事がしたいの！」
かくして、清藍の新たな日々は始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4357ba/>

冴えない天使は見つける - 1.冴えない天使は見つける -

2012年1月11日19時50分発行